

第646回

## I B C 番組審議会 議事録

— 議 題 —

「忘れない3. 11 海よ光れ—最後の上演—」

2020年1月29日（水）

(株) I B C 岩手放送

## 第646回IBC番組審議会

1. 開催日時 2020年1月29日(水) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 8名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 畠山 俊彰 佐藤 求

菅原 和彦 澤口たまみ

星 伸寿 藤野 静枝

欠席委員の氏名 小松 務 龍澤 尚孝

会社側出席者

鎌田 英樹 代表取締役社長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

眞下 卓也 取締役メディア放送本部長

若槻 修 報道局長

中村 好子 報道部長

佐藤 桃花 報道部記者

事務局 平澤 泰志 番組審議会事務局長

宿輪 智浩 番組審議会事務局員

4. 議題 「忘れない3. 11 海よ光れ—最後の上演—」

【2019/12/30(月) 午前8時00分～午前8時30分放送】

## 5. 議事の概要

### <委員の主な発言>

○津波が大人にとっては生々しく、子どもたちにとっては劇や映像で伝えていかなければならないものだということも分かり、「海よ光れ」の重要さが伝わった。劇を映像として記録したことにも番組の意義がある。

○津波のシーンをどうするか、判断を子どもたちに委ねたのが印象的だった。感情ではなく相談して結論を導いていて、淡々としたナレーションもよかった。

○劇を通じて子どもたちが地域を思う心を持ち、それが岩手を、世界を思う心になっていくような気がしたとても希望にあふれた番組だった。

○子どもたちが脚本の内容についてあらためて地域を取材し、その上で表現していた。演劇を通して学ぶという方法の確かさ、すばらしさというのを伝えていて、演劇が持つ力を再認識させてもらった。

○子どもたちが地域と交流して成長し、地域もみんなが協力して見守っていた。岩手にはこういう価値観があるというのをメッセージとして感じた。学校の統廃合が進むとどんな影響があるのかということも示していたのでは。

○冒頭が運動会のシーンで地域を挙げてのイベントであることがよく描かれ、そこで「海よ光れ」という言葉が出て、どんどん引き込まれていった。「忘れない3. 11」のシリーズとしてふさわしい内容だった。